

取扱説明書

セラビ

家庭用電解水素水生成器

セラビ II

C'est La Vie

MODEL CI-701H

本製品は医療用物質生成器として認可を受けており、以下の効果が認められています

電解水素水（陰極水）

飲用して慢性下痢・消化不良・胃腸内異常発酵・制酸・胃酸過多に有効

酸性水（陽極水）

弱酸性のアストリンゼント（化粧水）として美容に用いられる

保証書別添付

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本書には、ご使用になる上で大切なことが書かれておりますので使用前に必ずお読みの上正しくお使いください。
- 正しく設置されなかった場合や、正しく使用されなかった場合の製品の故障や事故について、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- お読みになった後はお使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

「安全上のご注意」のページは必ずお読みください

1 安全上のご注意

必ずお守りください 1~5

2 各部のなまえ

本体 6
切替コック 7
付属品 8
操作パネル 9

3 設置と準備

本体の設置 10
切替コックの取付方法 11~12
ホースの接続 13~14
浄水カートリッジの通水洗浄 15
pH測定 16

4 水の作り方

浄水の作り方 17
電解水素水／酸性水の作り方 18
カルシウムの添加方法 19

5 浄水カートリッジの交換

交換お知らせ表示 20
浄水カートリッジの交換方法 21~22

6 お手入れ

内部洗浄 23
切替コックの洗浄 24
日常のお手入れ 25
長期間使用しないとき 25

7 こんなとき

故障かなと思ったら 26~27

8 アフターサービス

保証・修理依頼 28

9 仕様

仕様 29

1

安全上のご注意（必ずお守りください）


（「安全上のご注意」は必ず最初にお読みください）


■ご使用前にこの「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」に区分しています。


いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。


 **警告** この表示は死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

 **注意** この表示は傷害または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

お読みになった後はお使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

なお、図記号には次のような意味があります。（以下は図記号の一例です）

 : このような図記号は気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。

 : このような図記号はしてはいけない「禁止」の内容です。

 : このような図記号は必ず実行していただく「強制」の内容です。

設置の前に

警告

- 本製品は家庭用電解水素水生成器です。
電解水素水、浄水、酸性水の生成以外の用途には使用しないでください。
- 本製品は水道水など飲用に適合した水を対象としております。
飲用不適な水は使用しないでください。
体調を損なう原因になります。

注意

- 本製品は一般のご家庭でご使用ください。
- 本製品は日本国内でご使用ください。



- 次のような水は通水しないでください。
 - ・にごりのひどい水
 - ・塩分の多い水
 - ・赤サビの多い水
 - ・その他飲用不適な水
（井戸水、くみ置きの水などは、飲用に不適な場合がありますのでご注意ください）
- 硬度の高い水（200 mg/L以上）をご使用の場合は、浄水カートリッジやその他の製品内部が詰まりやすくなる場合がありますので、ご注意ください。
（処置：浄水カートリッジの交換、電解槽の洗浄）
- 金魚や熱帯魚など、魚類の飼育水として使用しないでください。環境が変わり死ぬことがあります。



1

安全上のご注意（必ずお守りください）

設置について

⚠ 注意

- 次のような場所には設置しないでください。
故障の原因になります。
 - ・ 火を使用しているところ
 - ・ 直射日光があたる場所
 - ・ 凍結のおそれがある場所
 - ・ 湿気やほこりが多い場所
 - ・ 水がかかりやすい場所
 - ・ 腐食性ガスが発生する場所
 - ・ 電子レンジの近くなど、誤作動の影響を受けるおそれがある場所



- 本体は水平に設置してください。
ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には設置しないでください。
倒れたり落下したりして、けがまたは故障の原因になります。
- お湯専用の蛇口には接続しないでください。
故障の原因になります。
- 電源プラグ、ホース類などは容易に離脱しないように、正しく確実に接続してください。
- 切替えコックとホースは本製品付属の新品を使用してください。製品の買い換え時は、今まで使用していた切替えコックとホースが使用可能な場合でも再使用せずに新品を使用してください。
- 設置後は操作スイッチなどが正常に動作するか確認してください。



本製品の取り扱いについて

⚠ 警告

- 故障した場合など、どのような理由があっても自身での改造・分解・修理は絶対に行わないでください。
火災や故障、けがの原因になります。
その結果、生じた事故については一切責任を負いませんのでご了承ください。
本製品は医療機器です。修理許可を取得した、指定の作業所でしか修理できません。



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



- 本体を誤って水中に落としたときは感電を避けるため、以下の手順で対処してください。
 - ① 電源プラグをコンセントから抜く
 - ② 本体を引き上げる
 - ③ 販売店に修理を依頼する



1

安全上のご注意（必ずお守りください）

本製品の取り扱いについて

⚠ 注意

- 本体の上に物を置かないでください。
故障または事故の原因になります。
- 本製品を落としたり強い衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因になります。
- 表示された電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないでください。
火災、故障、感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、束ねたまま使用しないでください。
また、重い物を載せたり、挟み込んだりすると、破損し、火災、
感電の原因になります。
- 電源は他の機器とタコ足配線しないでください。
発熱し、火災の原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだとき、およびコンセントの差し込みがゆるいときは
電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止してください。
（感電、ショート、発火の原因になります）
- 電源コードをステーブルなどで固定しないでください。
（電源コードが破損し、感電、火災の原因になります）



- 電源プラグをコンセントに抜き差しするときは必ず電源プラグを持って行ってください。
コードを引っ張るとコードが傷み、火災、感電の原因になります。



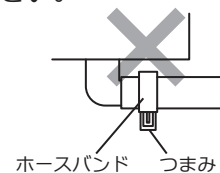
- 長期間使用しないときは、本体を洗浄後、乾燥させてから湿気のないところに
保管してください。
長期間使用しなかった本製品、再使用する場合は販売店に相談してください。
再使用のときは、正常かつ安全に作動することを確認してください。



- 本製品に40℃以上の温水を通水しないでください。
故障の原因になります。



- 各ホースが折れ曲がったり、ねじれたりしないようにしてください。
水の出口をふさがらないでください。
先止め式水栓を取り付けたまま製品を使用しないでください。
水の出口をホースなどで延長しないでください。
水漏れや故障の原因になります。



- ホースバンドの取り付けには気をつけてください。
手による脱着、または製品の底に手を回して持ち上げる時など、手を傷つけることが
あります。また、ホースバンドのつまみ部分を下に向けると、設置面に傷がつくことが
あります。

1

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用について

警告

- 電解水素水を飲むときは次のことに注意してください。
 - ・ 医薬品を電解水素水で飲用しない。
 - ・ 腎不全、カリウム排泄障害などの腎疾患の人は飲用しないでください。



- 次のような方は電解水素水を飲む前に医師に相談してください。
 - ・ 持病のある方、または身体の弱っている方
 - ・ 腎臓に障害のある方
 - ・ 医師の治療を受けている方
 - ・ 身体に異常を感じている方
- 次のときは飲用を中止し、医師に相談してください。
 - ・ 電解水素水を飲用して身体に異常を感じたとき。
 - ・ 電解水素水を飲用し続けても症状に改善がみられないとき。
- 次の方は酸性水を使用する前に医師に相談してください。
 - ・ 肌の弱い方
 - ・ アレルギー体質の方



注意

- 毎日使い始めの水は、蛇口を全開にして約40秒間通水してから使用してください。
- 数日間、使用しなかった本製品を使用するときは、蛇口を全開にして約1分間通水してから使用してください。
- 浄水カートリッジには活性炭を使用していますので、生成水に微粉末が出る場合があります。



- 酸性水を使用して肌に異常を感じたときは速やかに使用を中止し、医師に相談してください。
- 次のような水は飲まないでください。体調を損なうことがあります。
 - ・ 酸性水
 - ・ pH測定液が入った水
 - ・ 酸性水ホースから出る水
 - ・ 通水洗浄中に吐水される水
- 電解水素水を飲む場合は適値をpH9.5とし、pH10より低いpH値で飲用してください。pH10以上の水は飲用しないでください。



- 電解水素水を初めて飲むときはpHが中性に近い水を少量ずつ飲用し、その後体調に応じてpH、飲用量を調節して飲用してください。体調を損なう場合があります。
- 生成水のpH測定を定期的（1か月に1回以上）に行い、電解水素水が飲用範囲であることを確認してください。
- 電解水素水の飲用量は1日当たり500～1,000 mL程度としてください。
- 設置後、初めて電解水素水を飲むときはpH測定液でpHを測定し、pHが飲用範囲（pH10以上は飲用不可）であることを確認してから飲用してください。
- 電解水素水の有効保存期間は生成後約2日、酸性水の場合約1週間ですが、生成後は速やかに使用してください。なお、保存する場合は必ず密閉した容器で冷蔵庫に入れてください。生成水の保存に金属製容器は使用しないでください。とくにアルカリに弱いアルミ製品や酸に弱い銅製品などは使用しないでください。
- 生成水にカビ臭がしたときは販売店にご連絡してください。



1

安全上のご注意（必ずお守りください）

お手入れについて

⚠ 注意

- お手入れは必ず定期的に行ってください。
- 浄水カートリッジは常に最良の水質を保つため、定期的に交換してください。
- カルシウム分を多く含む原水の場合、原水中のカルシウム分が内部の部品に付着しやすくなるため吐水量が少なくなります。この場合は、洗浄スイッチを押して電解槽の電極を洗浄するか、カルシウム洗浄剤（別売）を使って電解槽を洗浄してください。
- 原水中のカルシウム成分は切替コック内部にも付着しますので、定期的に切替コックを洗浄してください。
- 洗浄しても水の出が改善されないときは販売店にご連絡ください。
- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因になります。
- 電源プラグに汚れやほこりが付かないよう、定期的に掃除してください。汚れやほこりが付いたままにしておくと火災の原因になります。



- 本体に直接水をかけて洗わないでください。漏電、感電、故障の原因になります。
- 本体や切替コック、ホース類、保存容器などの洗浄にベンジン、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。

- 消耗品や残留物、並びに寿命の終わった製品本体および付属品の廃棄に関しては、地域で定める条例に従って処分してください。

付属品について

⚠ 注意

- 本製品の付属品（専用部品）以外は使用しないでください。
- pH測定液を、飲んだり目に入れたりしないでください。体調を損なうことがあります。誤って飲用した場合は大量の水を飲み、目に入った場合は流水でよく洗い流してください。その後、必ず医師に相談してください。
- pH測定液は必ずフタをして幼児の届かないところに保管してください。火気に近づけないでください。引火することがあります。



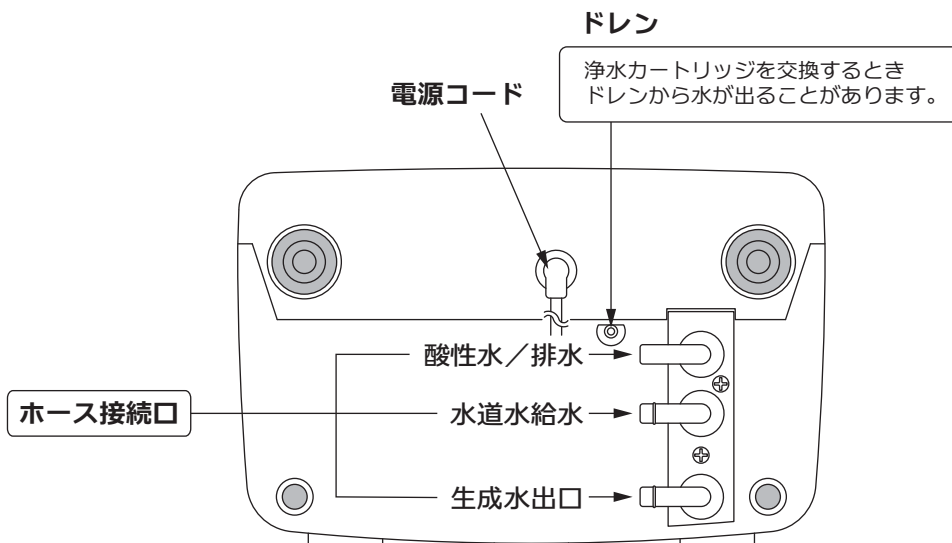
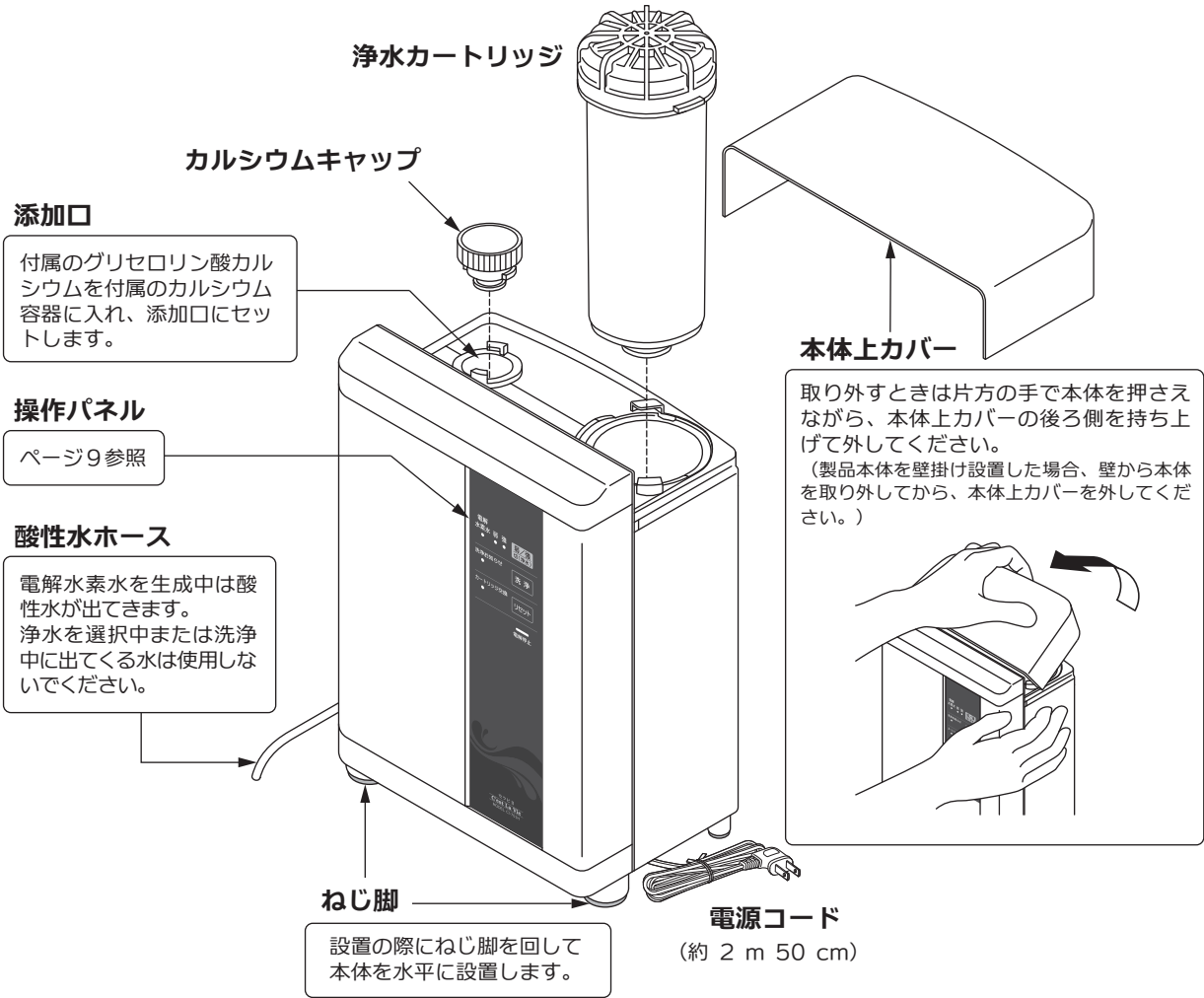
- pH測定液およびpH比色表の保存は、高温多湿を避け、暗所に保管してください。
- 電解補助剤は付属のグリセロリン酸カルシウム（食品添加物）を使用してください。指定のカルシウム剤以外のものは使用しないでください。
- 本体内にカルシウム容器を入れたままにする場合は、2～3日ごとに取り出し、カルシウム容器を水洗いしてください。



2

各部のなまえ

本体

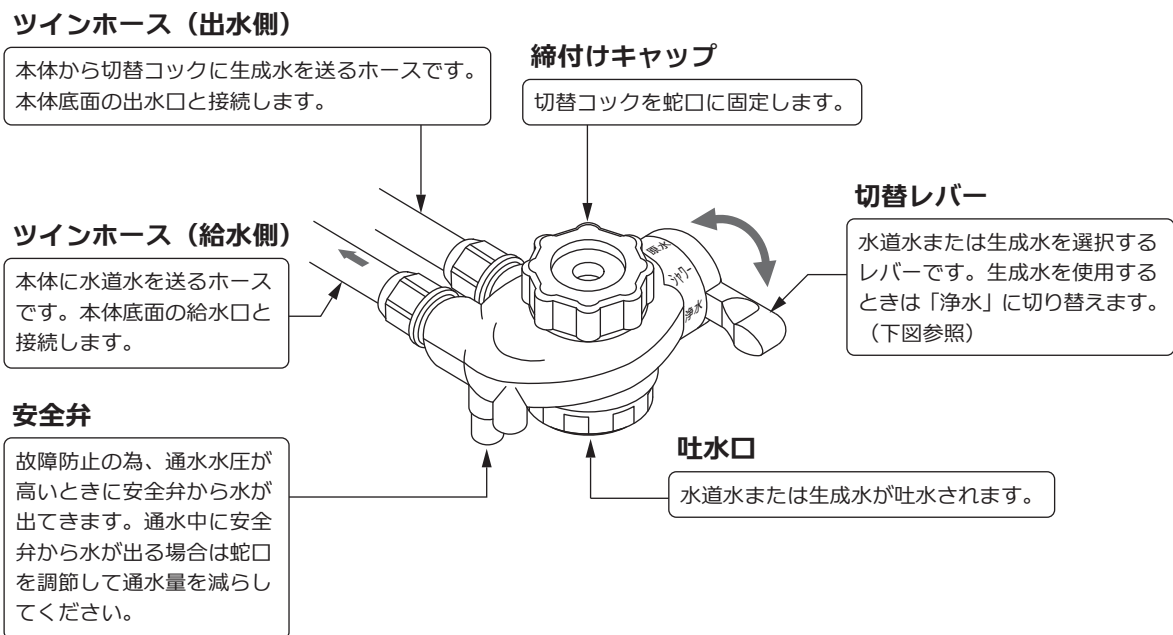


本体底面

2

各部のなまえ

切替コック



切替レバーの位置と水の種類

水道水		生成水 (電解水素水 / 浄水 / 酸性水)
<p>原水</p> <p>水道水がストレート水流で吐水されます</p>	<p>シャワー</p> <p>水道水がシャワー水流で吐水されます</p>	<p>浄水</p> <p>生成水 (電解水素水・浄水) がストレート水流で吐水されます</p>

2

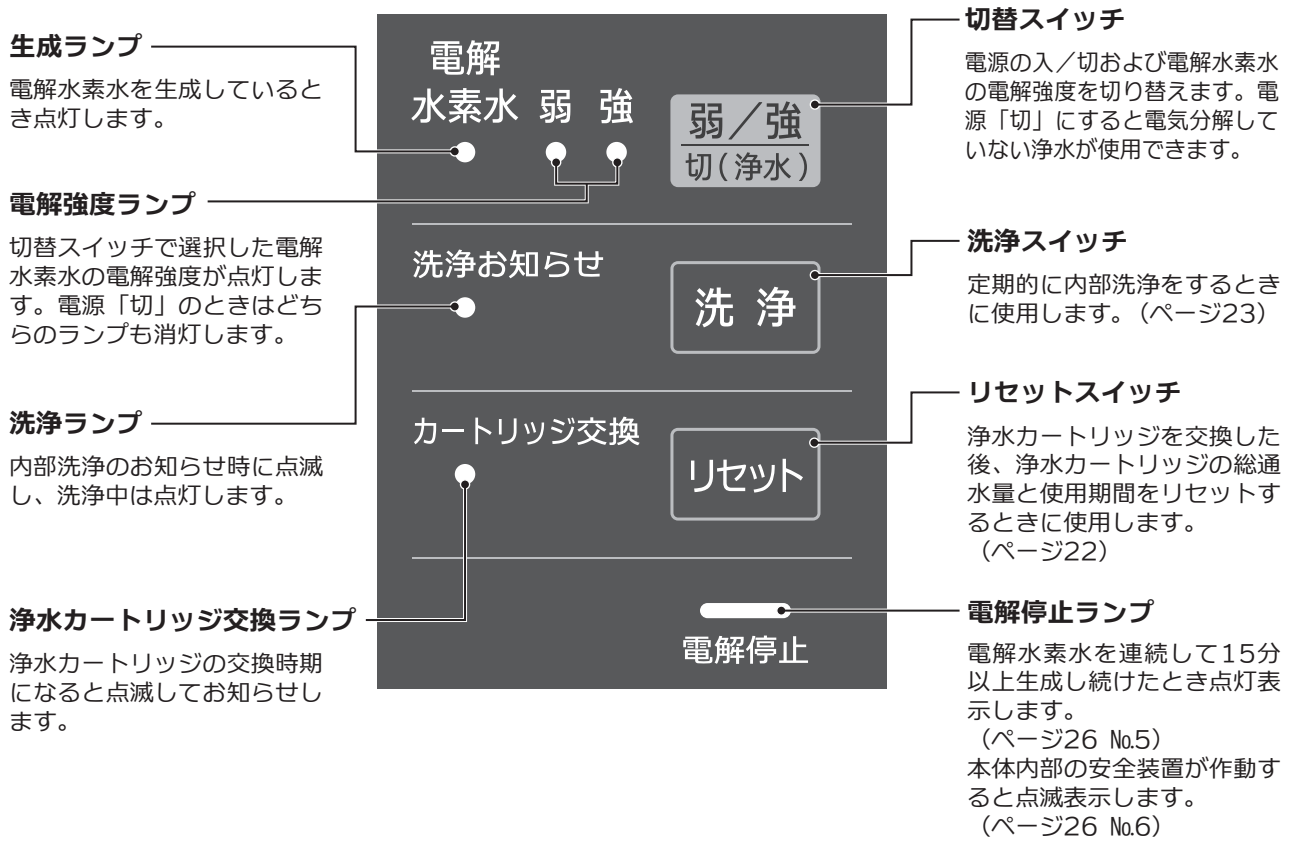
各部のなまえ

付属品

■以下の部品が入っているか確認してください。不備がある場合は販売店にご連絡ください。


切替コック取り付け用部品		本体装着部品		
 <p>切替コック 〔ツインホース付き (約 1 m 50 cm) ホースバンド付き〕</p>	 <p>取り付け用 アダプターセット</p>	 <p>カルシウム容器</p>		
本体設置用部品				
 <p>酸性水ホース (約 1m50 cm)</p>	 <p>ホースクランプ</p>	 <p>壁掛け用ねじ</p>		
印刷物				
 <p>取扱説明書</p>	 <p>添付文書</p>	 <p>保証書</p>		
消耗品				
 <p>グリセロリン酸 カルシウム (電解補助剤)</p>	 <p>計量スプーン</p>	 <p>pH測定液</p>	 <p>pH比色表</p>	 <p>浄水カートリッジ (本体組込済)</p>

操作パネル



■ ランプの状態

取扱説明書の挿し絵が示す操作パネルのランプの状態は次の通りです。

ランプの状態	
	点滅
	点灯
	消灯

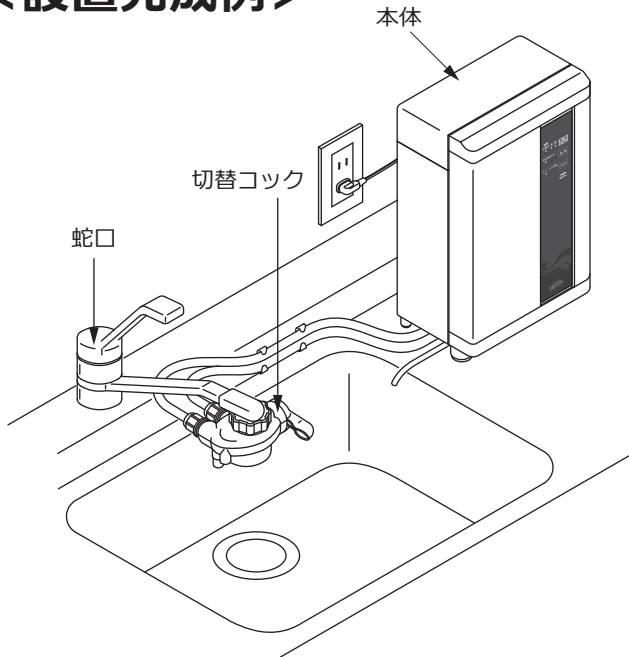
3

設置と準備

本体の設置

- 「設置の前に (ページ1) 」と「設置について (ページ2) 」をよく読んでから正しく設置してください。
- 設置場所を決めるときは設置スペース、設置面、蛇口からの距離、設置環境を考慮して決めてください。
- 本体は付属の壁掛け用ねじを使用すると、壁または柱に設置できます。この場合、設置に必要な強度の確認が必要です。販売店にご連絡ください。

<設置完成例>

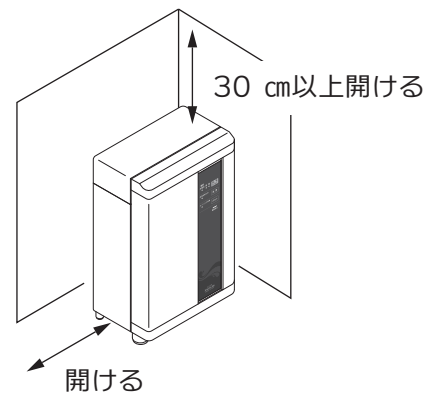


⚠ 注意 (必ず守る)

- 次のような場所には設置しないでください。故障の原因になります。
 - ・ 火を使用しているところ
 - ・ 直射日光があたる場所
 - ・ 凍結のおそれがある場所
 - ・ 湿気やほこりが多い場所
 - ・ 水がかかりやすい場所
 - ・ 腐食性ガスが発生する場所
 - ・ 電子レンジの近くなど、誤作動の影響を受ける恐れがある場所
- 本体は水平に設置してください。ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には設置しないでください。落下や倒れにより、けがまたは故障の原因になります。
- 壁掛けまたは柱掛け設置をご希望の場合は販売店または工事店にご連絡ください。(壁、柱の強度確認が必要です)

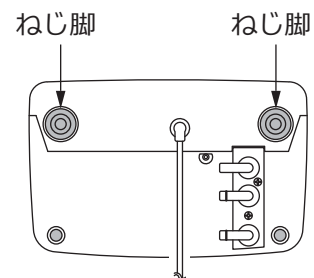
1 設置スペースを確保する

- ・ 浄水カートリッジが抜き差しできるスペース (上30 cm以上) を確保してください。
- ・ ホースを引き出すため、左右どちらかはスペースを確保してください。



2 本体を水平に設置する

- ・ 本体底のねじ脚を回して、本体の水平を調整してください。
- ・ ねじ脚を調整しても不安定な場所には設置しないでください。
- ・ ぐらついた台や傾いた場所には設置しないでください。



本体底面

切替コックの取付方法

■ 蛇口の種類に適した取り付け用アダプターセット（付属品）を使い、切替コックを蛇口に取り付けてください。

蛇口の種類

外ねじ・内ねじタイプ

対応：
Bセット
Cセット

蛇口先端の泡沫金具を外すとパイプがねじになっているもの

泡沫金具

(Bセット) 外ねじ用 (Cセット) 内ねじ用

TOTO INAX W22 mm KVK W23 mm

GROHE MOEN YANMAR M22 mm GROHE M24 mm

内は適応メーカー

取付手順

① 蛇口先端の泡沫金具一式を取り外します。

外ねじタイプ 内ねじタイプ

泡沫金具

丸型蛇口タイプ

先端がふくらんだ丸型の蛇口にはAセットを使用してください

(Aセット) 先がふくらんだ丸型パイプ用

16 mm用 Cリング 17.5 mm用 Cリング 19 mm用 Cリング

① 切替コックの締付けキャップを蛇口に通します。

締付けキャップ

その他のタイプ

丸型蛇口で付属のCリングに合わないものにはDセットを使用してください

(Dセット) その他の蛇口用

ビス止め用固定リング

① ビス止め用固定リングのビス4本を一度取り外し、締付けキャップにビス止め用固定リングを通して再度、ビスがかかるく止まるまでねじ込みます。

締付けキャップ

ビス止め固定用リング

かるく止まるまでねじ込む

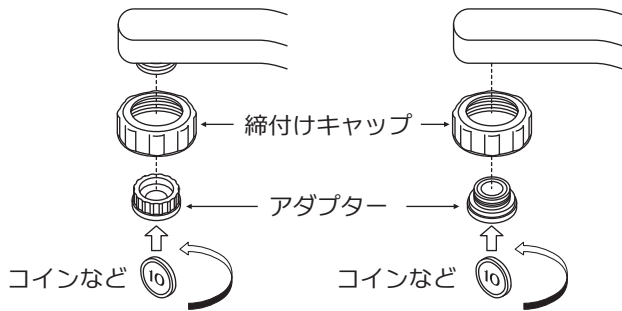
取り付けられない蛇口

次のような形状の蛇口には取り付けることはできません。販売店にご相談ください。

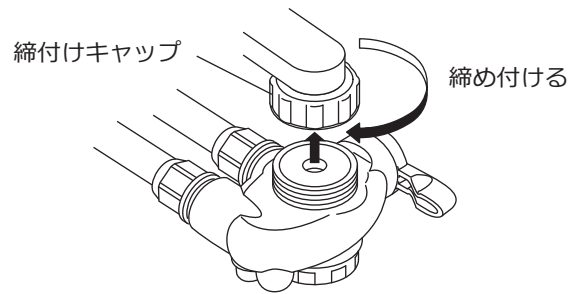
先端部が10 mm以下

蛇口の直径が23 mm以上

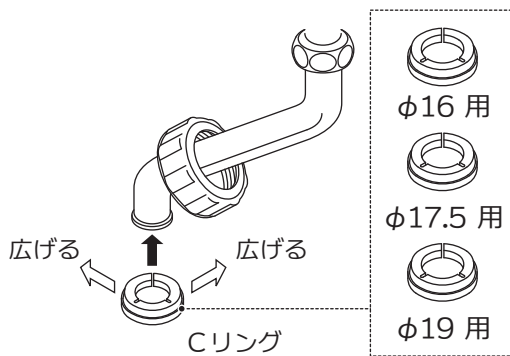
- ② 切替コックから締付けキャップを外します。
サイズに合ったアダプターを締付けキャップの下からはめ込み、アダプターを（コイン等で）締め付けます。



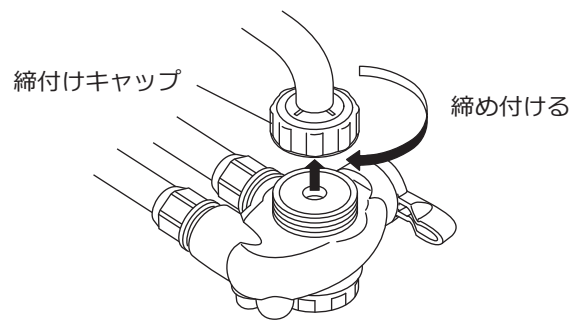
- ③ 切替コックを下から水平に当て、締付けキャップを締め付けて固定します。



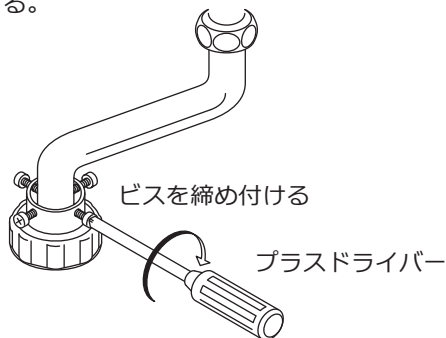
- ② サイズの合ったCリングを蛇口の先端にはめ込みます。



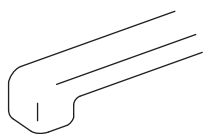
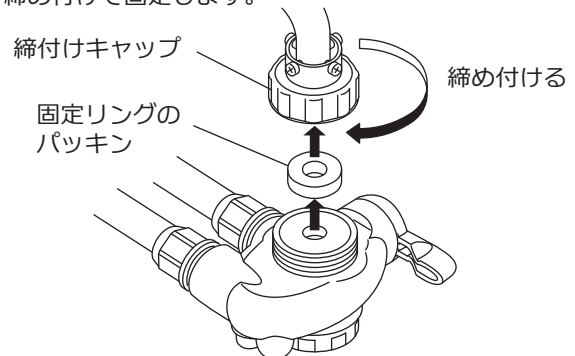
- ③ 切替コックを下から水平に当て、締付けキャップを締め付けて固定します。



- ② 蛇口の先端にビス止め固定リングを押し当て、プラスドライバーでビス4本を締め付けて固定する。



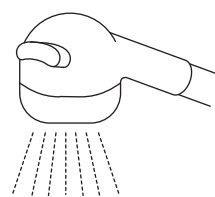
- ③ 切替コックを下から水平に当て、締付けキャップを締め付けて固定します。



蛇口の先端が丸型以外のもの



センサー付



シャワー付

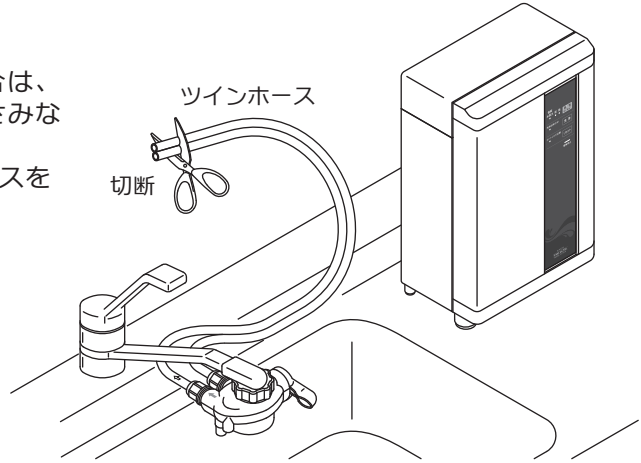
3 設置と準備

ホースの接続

■切替コックのツインホース（白色）と酸性水ホース（水色）を本体に接続します。

1 ツインホースの長さを調節する

- ・設置するとホースが余る（長すぎる）場合は、ツインホースの先端（本体接続側）をはさみなどで切断し、長さを調節してください。
- ※蛇口が左右に動く余裕を確認しながらホースを切断してください。



2 各ホースを本体底のエルボに接続する

- ・布巾などを広げた上に本体背面を下にして置き、接続作業を行ってください。
- ・各エルボは360°回転します。設置状況に応じて本体の左右どちらからでもホースを導けます。

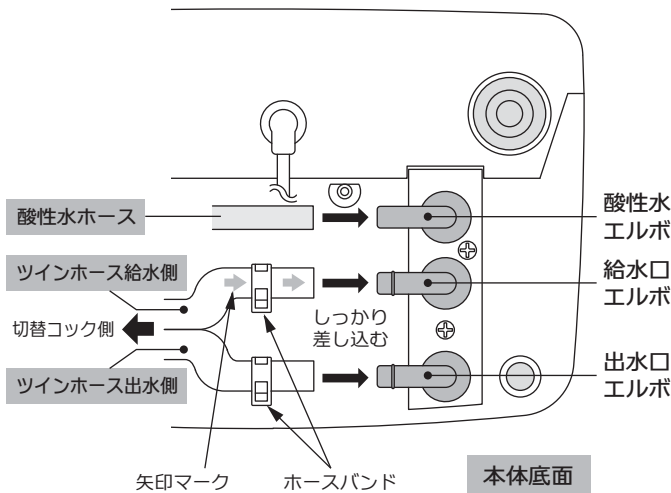
ツインホース（白色）（給水側のみ 矢印マークあり）

- ① ホースにホースバンドを通しておく
- ② エルボ（給水口/出水口）の奥までしっかり差し込む
- ③ ペンチなどを使いホースバンドをエルボ側へ移動させてホースを固定してください（ホースバンドのつまみは本体側へ向ける）

酸性水ホース（水色）（矢印マークなし）

酸性水エルボの奥までしっかり差し込んでください

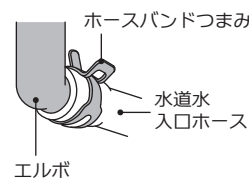
※ 酸性水ホースにホースバンドは必要ありません



⚠️ 注意

水漏れ防止のため、ホースをエルボの奥まで差し込み、ホースバンドで固定してください。

○ 正しい接続



ホースバンドのつまみは本体側へ向けてください

✗ 誤った接続

つまみが設置面に向いている



ホースの差し込みが不十分



⚠️ 注意

- ホースバンドを素手で着脱するとケガをする場合がありますのでペンチなどを利用してください。本体を持ち上げるときもホースバンドで指をケガしないよう注意してください。
- ホースバンドのつまみを設置面に向けると、設置面に傷が付くことがありますので注意してください。

3 設置と準備

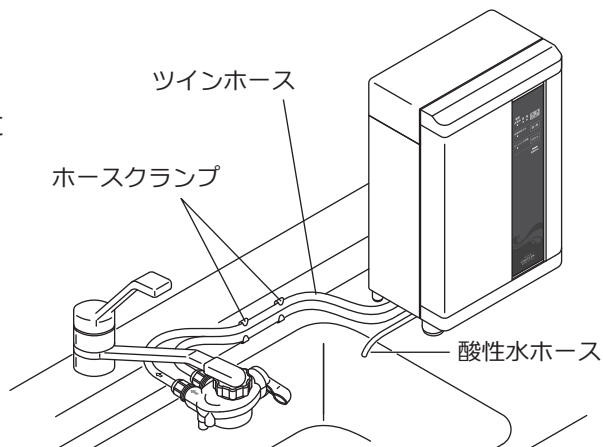
ホースの接続（つづき）

3 ツインホースを固定する

ホースクランプ（付属品）を使うとシンク周辺に固定できます。

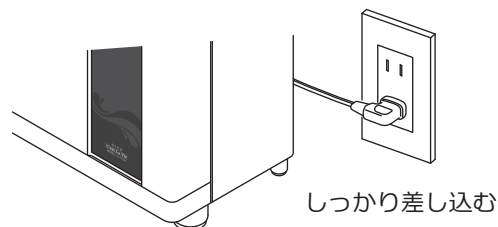
4 酸性水ホースをシンク内に導く

設置すると酸性水ホースが余る（長すぎる）場合は、はさみなどで酸性水ホースを切断し長さを調節してください。



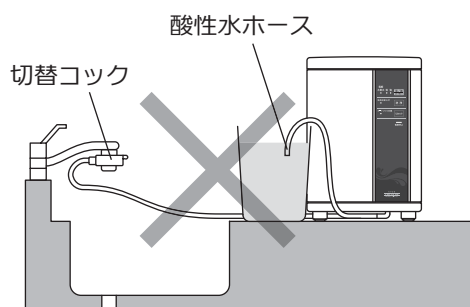
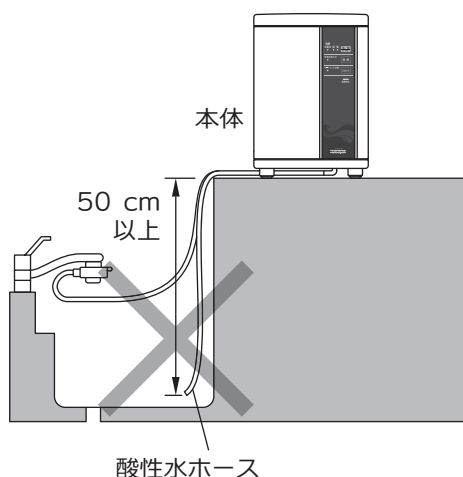
5 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。



⚠ 酸性水ホースの設置と取扱いの注意

■ 次のような設置や使い方はしないでください。



- ・ 酸性水ホースの先端が本体より50 cm以上上がると、本体内部の水が酸性水ホースから抜けてしまいます。
- ・ 酸性水ホースから出る水を容器に溜めるときは、ホースの先端を本体や切替コックより高い位置に導かないでください。また、先端を水に浸けないでください。（酸性水ホースから排水されなくなります）
- ・ 水を溜めるときはシンク内に容器を置いて溜めてください。

3 設置と準備

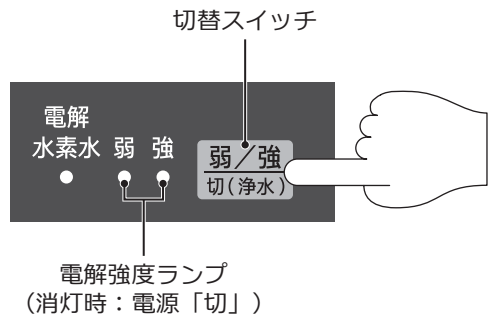
浄水カートリッジの通水洗浄

浄水カートリッジの通水洗浄を行います

- 初回設置時、または新しい浄水カートリッジに交換したときは次の手順で通水洗浄を行ってください。
- 通水洗浄する前に浄水カートリッジが本体にしっかりセットされているか確認してください。

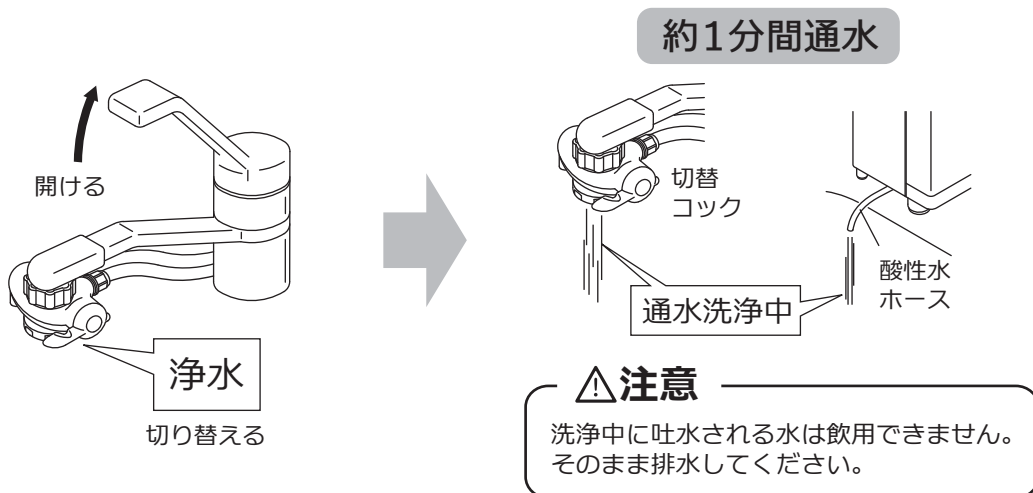
1 切替スイッチを押して電源を切る

電解強度ランプが消灯すると電源「切」になります。



2 切替コックレバーを「浄水」に切り替え、蛇口を全開近くまで開けたまま、約1分間通水し続ける

通水を開始してから数秒間は活性炭の微少な粉(黒)が吐水に混じって出てきますが、そのまま通水洗浄を続けていると粉は出なくなります。



3 約1分経過したら、蛇口を閉じて通水を停止する

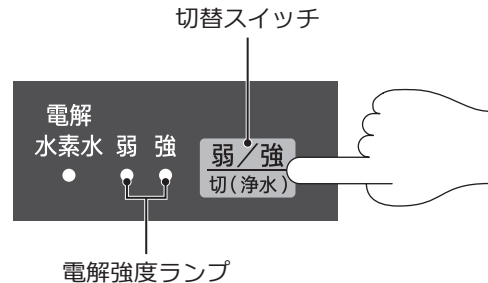
3 設置と準備

pH測定

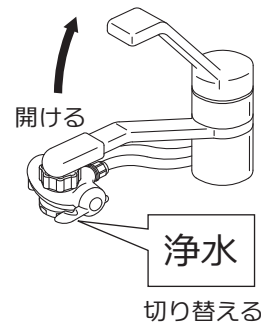
pH測定液を使って電解水素水のpHを測定します

- 初回設置後、または長期間使用しなかった後に電解水素水を使用するときはpHを測定し、飲用範囲のpHであるか確認してください。
- 電解水素水を飲用するときはpH9.5を適値としpH10以上は飲まないでください。
- このpH測定は定期的（1か月に1回以上）に行ってください。
- pH測定液とpH比色表は本製品専用の付属品をご使用ください。

1 切替スイッチを押して電解水素水の電解強度[弱]または[強]を選択する

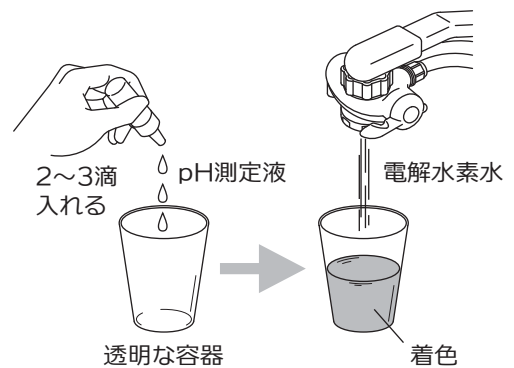


2 切替コックレバーを「浄水」に切り替え、蛇口を開けて通水を開始する



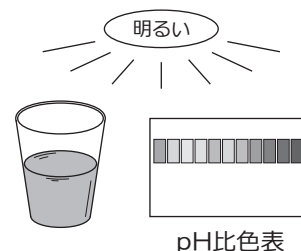
3 透明な容器にpH測定液を2~3滴入れ、切替コックから出てくる電解水素水を容器に入れる

pH測定液を入れた容器に電解水素水を入れると、pH測定液と反応して色が着色します。



4 生成水のpH値を測定する

コップとpH比色表を並べて持ち、明るいところでpHを読み取ってください。



⚠ 注意

- pH測定液およびpH測定液が入った水は飲まないでください。
- 原水の遊離炭酸が通常より多い場合、電解水素水のpHは低い傾向を示します。また、pH比色表に近い色には変化しないこともあります。このような場合は水質の影響であり、製品の故障ではありません。
- pH測定液を保管するときは冷暗所に保管してください。日光に長時間あたると変色する場合があります。

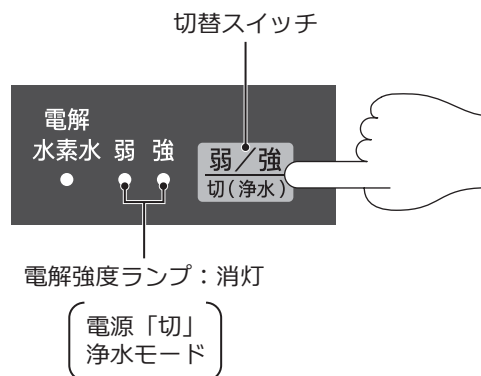
4 水の作り方

浄水 の作り方

- 毎日使い始めの水は、蛇口を全開にして約40秒間通水してから使用してください。
- 数日使わなかった後の使い始めは、蛇口を全開にして約1分間通水してから使用してください。

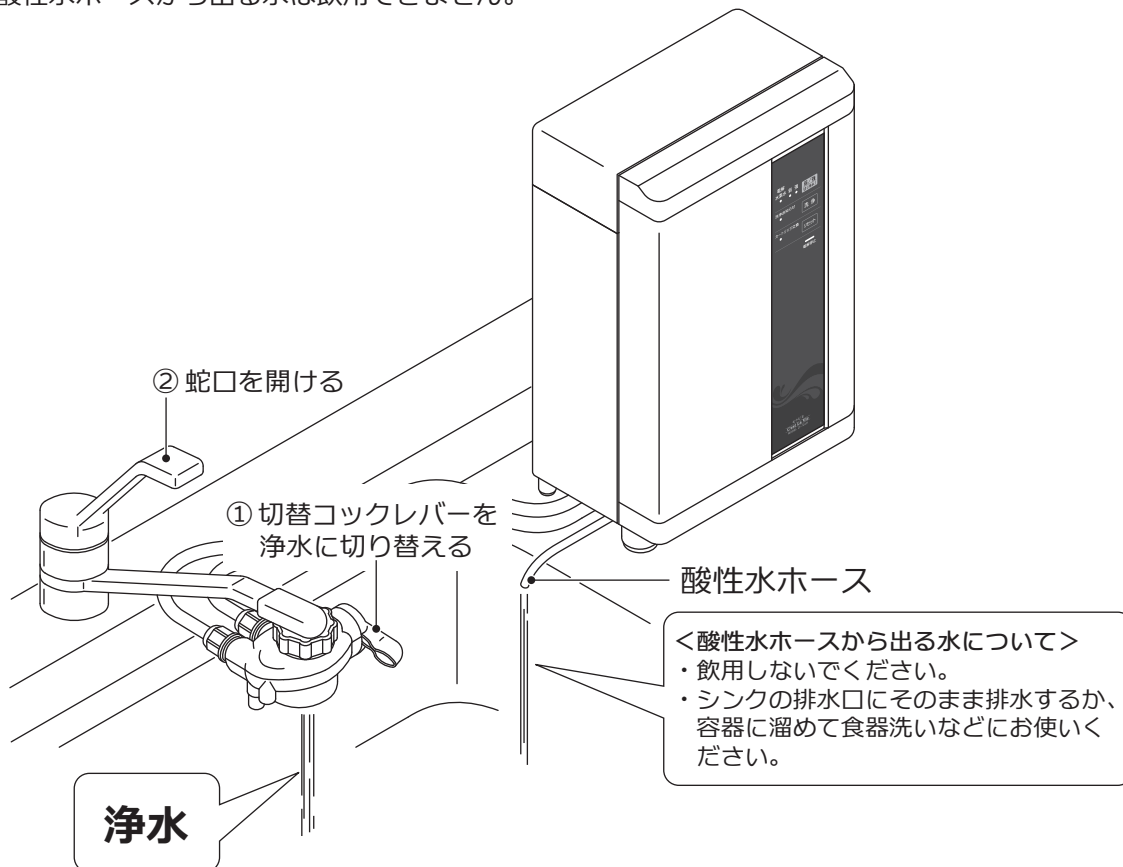
1 切替スイッチを押して電源を切る

電解強度ランプが消灯すると電源「切」になり、水を電気分解しない「浄水」のみの生成になります。



2 切替コックレバーを「浄水」に切り替え、蛇口を開けて通水を開始する

切替コックから浄水が吐水されます。
酸性水ホースから出る水は飲用できません。



3 終了するときは蛇口を閉じる

蛇口を閉じた後、すぐに水が止まらない場合がありますが故障ではありません。
これは、本体内部の水圧がすぐに抜けないために起こる現象です。

4 水の作り方

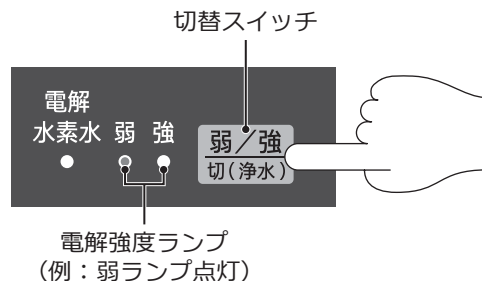
電解水素水／酸性水の作り方

- 毎日使い始めの水は、蛇口を全開にして約40秒間通水してから使用してください。
- 数日使わなかった後の使い始めは、蛇口を全開にして約1分間通水してから使用してください。

1 切替スイッチを押して電解水素水の電解強度[弱]または[強]を選択する

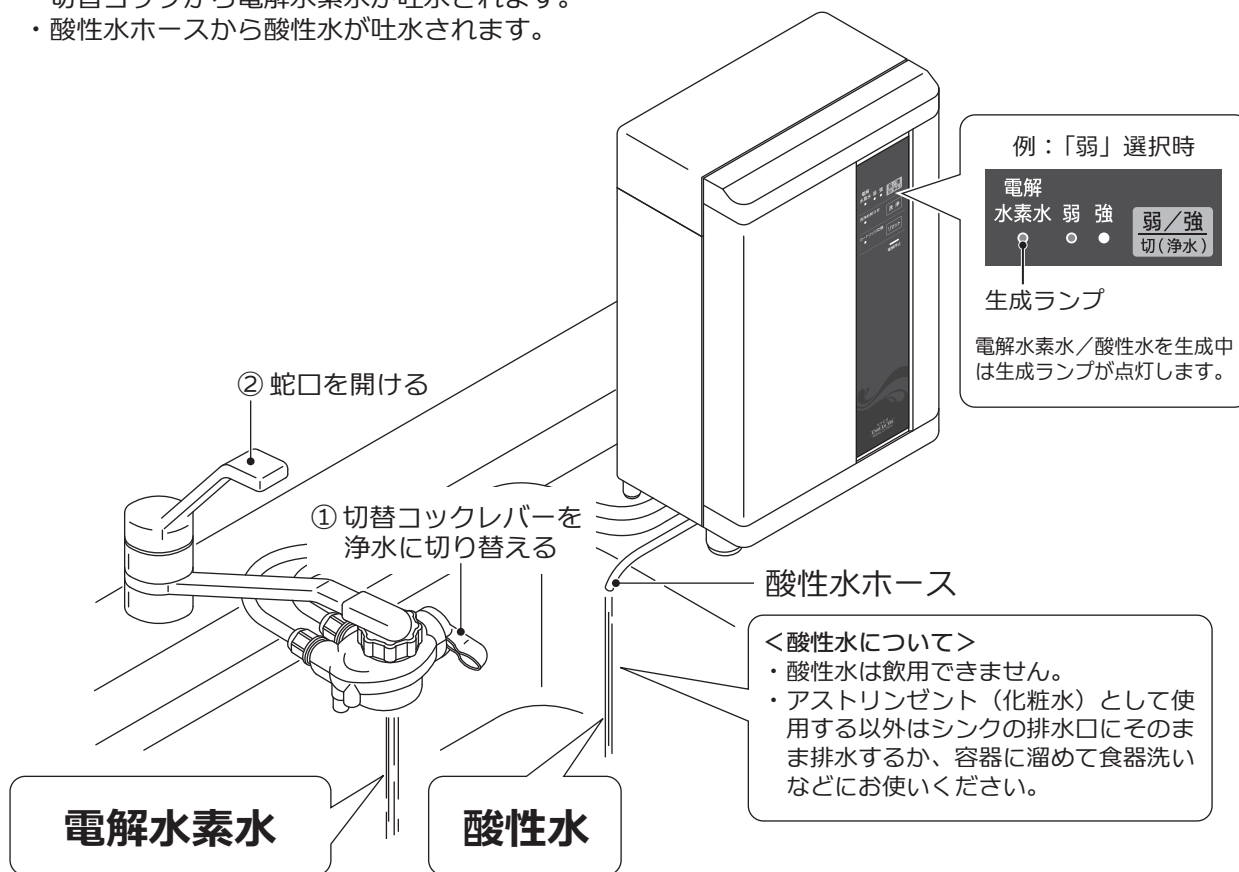
スイッチを押すたびに電解強度ランプの点灯が切り替わります。

電源「切」を選択すると電解強度ランプは消灯します。



2 切替コックレバーを「浄水」に切り替え、蛇口を開けて通水を開始する

- ・ 切替コックから電解水素水が吐水されます。
- ・ 酸性水ホースから酸性水が吐水されます。



⚠ 注意

- 初めて電解水素水を飲用するときは、いきなり電解強度「強」から飲用せず、「浄水」や電解強度「弱」から少量ずつ飲み始めてください。その後、体調に応じて電解強度「強」や飲用量を調整してご使用ください。
- 酸性水は飲用できません。
- 電解水素水を飲用する場合は適値をpH9.5とし、pH10より低いpH値を飲用してください。
- 1か月に1回以上電解水素水のpHを測定し、飲用範囲のpHであるか定期的に確認してください。(ページ16)
- pH10以上の水は飲用しないでください。
- 保存有効日数は電解水素水の場合、生成後約2日、酸性水の場合約1週間(密閉容器に入れて冷蔵保存した場合)ですが、生成後はなるべく早く使用してください。なお、保存容器の材質はアルカリに弱いアルミ製容器や、酸に弱い銅製容器などは使用しないでください。

3 終了するときは蛇口を閉じる

蛇口を閉じた後、すぐに水が止まらない場合がありますが故障ではありません。これは、本体内部の水圧がすぐに抜けないために起こる現象です。

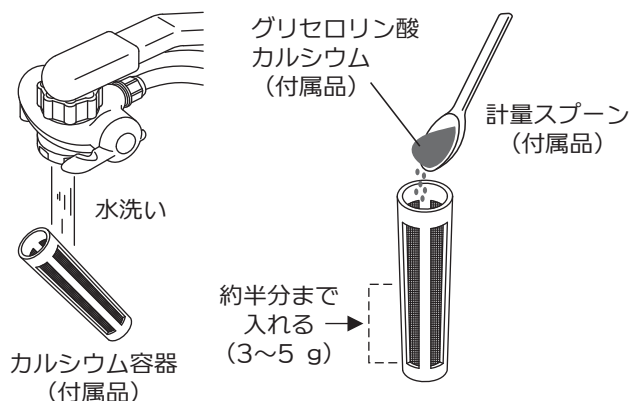
4 水の作り方

カルシウムの添加方法

- 原水の水質によっては電解強度「強」を選択していてもpH9.0以上を生成できない場合があります。この場合は、付属のグリセロリン酸カルシウム（電解補助剤）を下記の手順で添加してから生成してください。
- カルシウムを添加した後は、定期的にカルシウムキャップを開けてカルシウムが減っていないか確認してください。
- 補給するときは本製品専用の食品添加用グリセロリン酸カルシウムを使い、それ以外のものは使用しないでください。
- グリセロリン酸カルシウムは消耗品です。お買い求めは販売店までご連絡ください。
- 手を石鹸できれいに洗い、清潔を保ちながら行ってください。不衛生な状態で行うと本体内部でカビが生え、生成水に異臭がする場合があります。

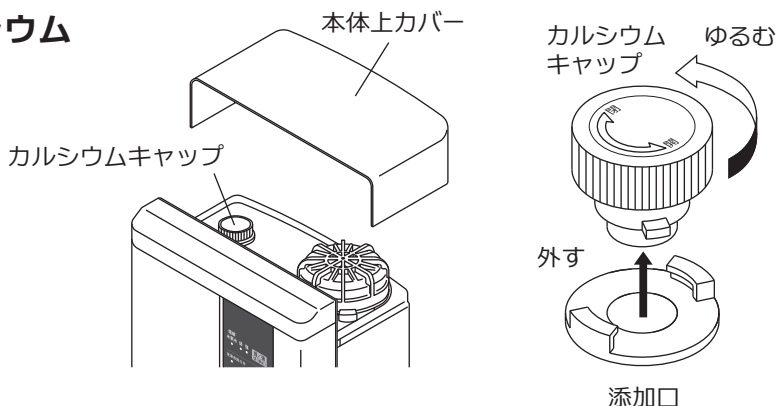
1 付属のカルシウム容器を流水でよく洗い、付属のグリセロリン酸カルシウムを容器の約半分（3～5 g）まで入れる

グリセロリン酸カルシウムを入れるときは付属の計量スプーンを使ってください。



2 本体上カバーを外してカルシウムキャップを外す

通水を止めてから行ってください。

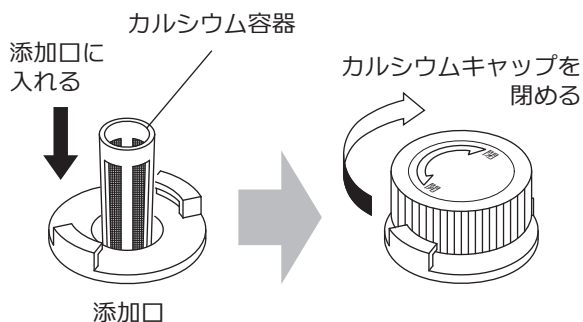


3 カルシウムを入れたカルシウム容器を添加口に入れ、カルシウムキャップをしっかりと閉める

カルシウムキャップは必ず閉めてください。

⚠注意

カルシウムキャップを閉めずに通水すると、添加口から水があふれ、故障の原因になります。



4 本体上カバーを元通り取り付ける

⚠注意

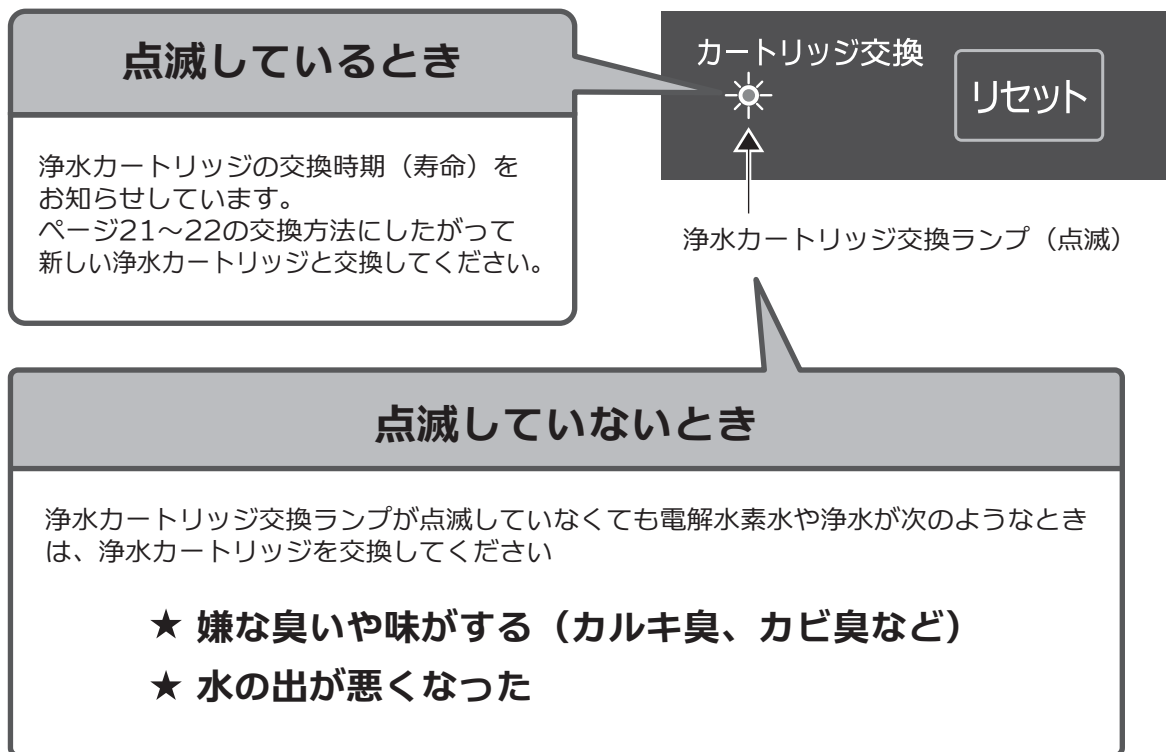
使用頻度が少ない場合はカルシウム容器を本体に入れたままにしないでください。

5 電解水素水を生成する（ページ18）

5 浄水カートリッジの交換

交換お知らせ表示

- 浄水カートリッジの総通水量が30,000 Lまたは使用期間が1年を超えると寿命です。寿命になると浄水カートリッジ交換ランプが点滅してお知らせしますので、速やかに新しい浄水カートリッジと交換してください。
- 常に最良の水質を保つため、総通水量が少なくても使用開始から1年経過したら交換してください。
- 交換時期の目安は使用水量、水質、水圧により異なります。
- 新しい浄水カートリッジのお買い求めは販売店までご連絡ください。



⚠注意

浄水カートリッジは本製品専用（正規品）をお使いください。
交換用浄水カートリッジのお買い求めは本製品をお買い求めになった販売店までご連絡ください。

5 浄水カートリッジの交換

浄水カートリッジの交換方法

- 交換ランプが点滅しているときは下記の手順で交換してください。
- 浄水カートリッジの交換時期をリセットするため、電源プラグはコンセントから抜かないでください。
- 交換するときは必ず通水を止めてから行ってください。

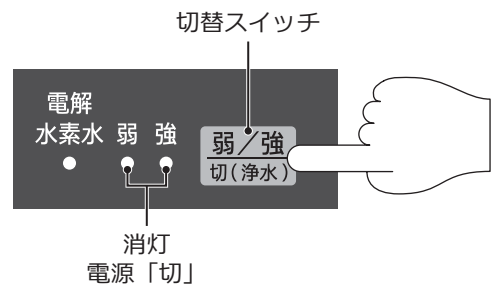
⚠注意

使用済みの浄水カートリッジを処分するときは燃えないゴミまたは、市区町村が指定する分別方法で廃棄してください。

(浄水カートリッジの材質：ケースはABS樹脂、ろ材は活性炭)

1 切替スイッチを押して電源を切る

電解強度ランプが消灯すると電源「切」になります。

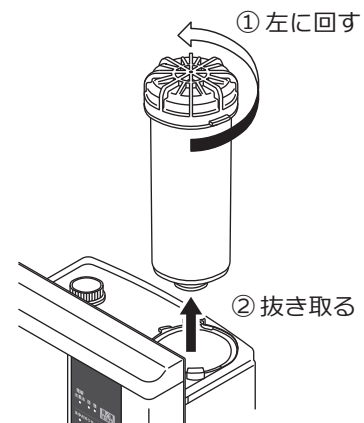


2 本体上カバーを外す



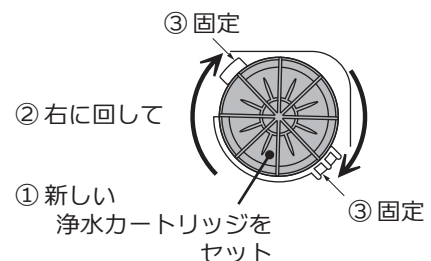
3 浄水カートリッジを左に回し本体から抜き取る

通水を止めてから行ってください。



4 新しい浄水カートリッジを本体に差し込み 右に回して固定する

浄水カートリッジを本体に固定した後、本体上カバーを取り付けてください。



5 浄水カートリッジの交換

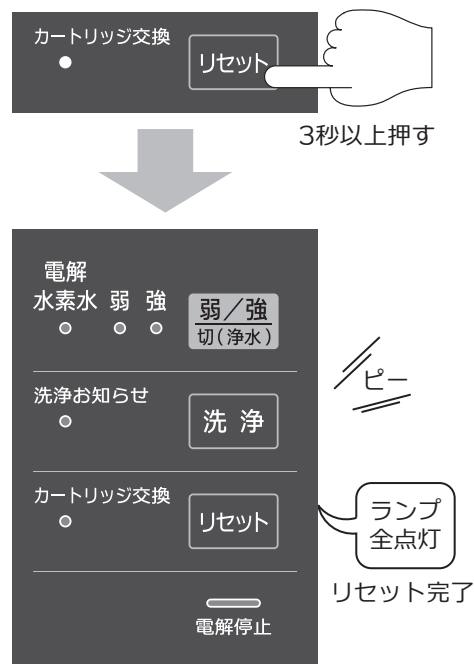
浄水カートリッジの交換方法（つづき）

5 リセットスイッチを3秒以上押しください 総通水量と使用期間をリセットします

リセットが完了すると「ピー」音が鳴り、すべてのランプが点灯します。

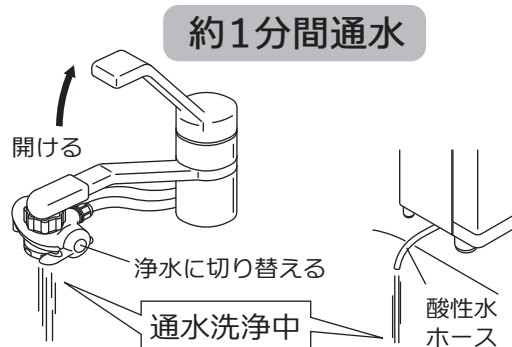
お願い

交換ランプが点滅していないときに浄水カートリッジを交換したときも、必ずリセットスイッチを3秒以上押し、総通水量と使用期間をリセットしてください。



6 切替コックレバーを「浄水」に切り替え、蛇口を全開近くまで開けたまま、約1分間通水し続ける

通水を開始してから数秒間は活性炭の微少な粉（黒）が吐水に混じって出てきますが、そのまま通水洗浄を続けていると粉は出なくなります。



⚠ 注意

洗浄中に吐水される水は使用できません。そのまま排水してください。

7 約1分経過したら、蛇口を閉じて通水を停止する

6 お手入れ

内部洗浄

電解槽の電極洗浄

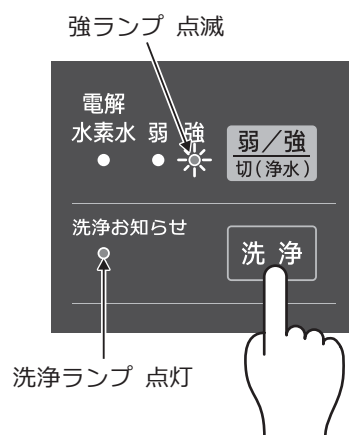
- 本体内部の電解槽は定期的に洗浄が必要です。洗浄が必要になったら自動的に洗浄ランプが点滅してお知らせしますので、次の手順で洗浄を行ってください。
- ご使用の水道水の硬度が高くカルシウム成分が多い場合は、洗浄ランプが点滅していなくても必要に応じて下記洗浄を行ってください。
- 電極にスケール汚れが付着している可能性がある場合は、専用の洗浄剤を使って内部洗浄をする必要があります。詳しいことは販売店までご連絡ください。（下記※参照）

1 一定時間電解水素水を生成し続けると「洗浄ランプ」が点滅し内部洗浄のお知らせをします。（生成は継続できます）このとき、通水を止めるとブザー音「ピッピッ」が10回鳴ります。



2 洗浄スイッチを押してください。「強ランプ」が点滅し、「洗浄ランプ」が点灯に変わります。

洗浄を途中で中止したいときはもう一度洗浄スイッチを押してください。

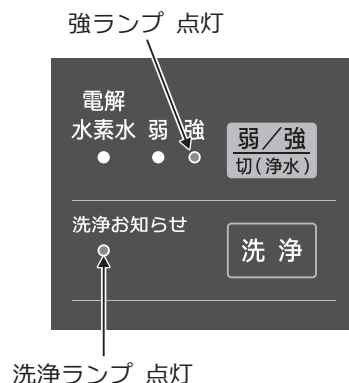
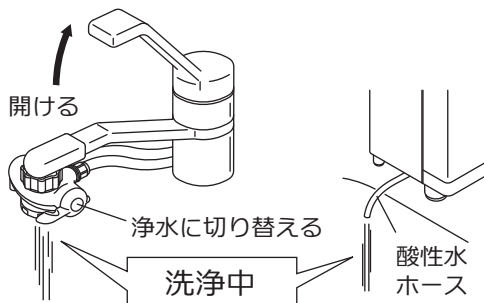


3 通水してください。「強ランプ」が点灯に変わり約90秒間、製品本体の内部を自動洗浄します。

- ・ 洗浄ランプは点灯したままです。
- ・ 洗浄中は通水を止めないでください。

注意

洗浄中は切替コックからアルカリ性の水、酸性水ホースから酸性の水が出てきます。どちらも使用せずにそのまま排水してください。



4 洗浄が終了すると「ピーピー」音が鳴ってお知らせしますので、通水を止めてください。

- ・ 「ピーピー」音は通水を止めるまで鳴り続けます。
- ・ 通水を止めるとランプ表示は洗浄前の状態に戻り、洗浄完了です。

(※) 専用洗浄剤による電解槽の内部洗浄について

電解水素水の生成回数が増えてくると原水に含まれるカルシウム成分がスケール汚れとなり、電解槽の電極などに付着し始めます。スケール汚れが付着すると上記の内部洗浄機能を使っても汚れは落ちないため、電解水素水や浄水の吐水量が減ったり電解水素水のpHが低下したり、本来の性能を維持できなくなります。特に硬度の高い水質の地域では多量にスケール汚れが付着します。半年から1年に1回を目安に、別売のカルシウム洗浄剤と洗浄瓶セットを使って内部洗浄することをお勧めします。（ページ25）詳しいことは販売店までご連絡ください。

6 お手入れ

切替コックの洗浄

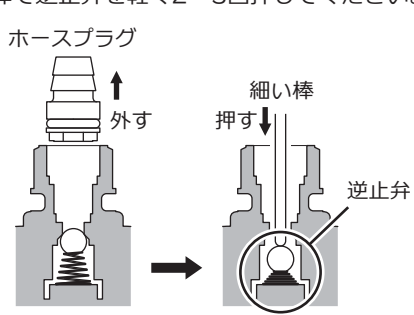
スケール汚れの除去

- 生成回数が増すにつれ、原水中のカルシウム成分や水道配管内の汚れが切替コック内部に付着してきます。
- 1~2か月に1回程度は下記の手順で切替コックの洗浄を行ってください。
- カルシウム洗浄剤のお買い求めは、本製品をお買い求めになった販売店までご連絡ください。

1 切替コックを蛇口から取り外し、切替コックを分解する。

締付けキャップをゆるめて蛇口から外し、ホースナットをゆるめてホースを外してください。

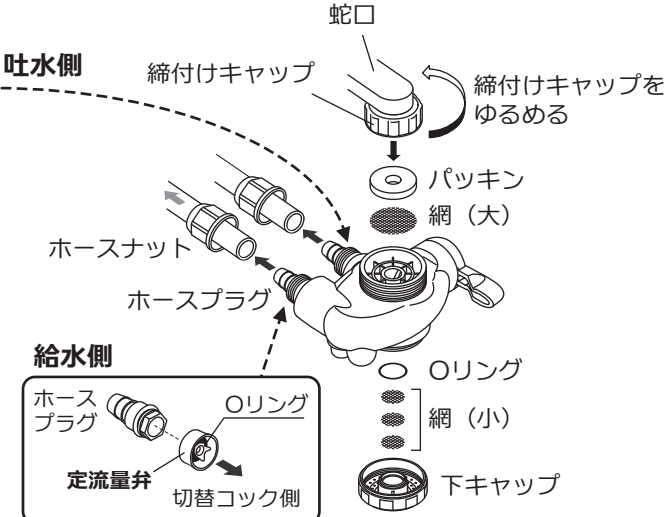
汚れがひどいときは内部の逆止弁が固着している場合がありますので、ホースプラグを外して細い棒で逆止弁を軽く2~3回押ししてください。



ホースプラグ 外す
細い棒 押す
逆止弁

注意

- 鋭利な棒で押しすぎたり力強く何度も押しすぎたりしないでください。
- 逆止弁や切替コック内部を傷つけないように注意してください。



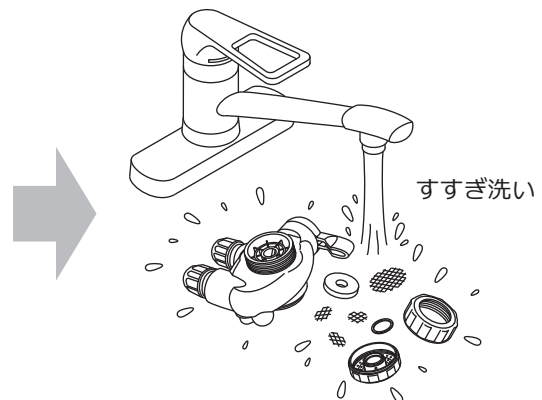
吐水側
蛇口
締付けキャップ
締付けキャップをゆるめる
パッキン
網(大)
ホースナット
ホースプラグ
給水側
ホースプラグ
定流量弁
切替コック側
Oリング
網(小)
下キャップ

注意 (分解するとき)

給水側の定流量弁が外れたときは、上図のように定流量弁内部のOリングを切替コック側に向けて取り付け直してください。(Oリングの向きが違ったまま使用すると故障の原因になります)
また、分解するときは洗面器など、大きめの容器内で分解し、部品をなくさないように注意してください。

2 部品を洗浄する

- ・やわらかいブラシやスポンジで洗浄してください。
- ・白い固形分(カルシウム)が付着しているときは、別売のカルシウム洗浄剤に約10時間(一晩)浸けてください。
- ・カルシウム洗浄剤に浸けた後は水でよくすすいでください。



3 分解した切替コックを組み立てる

各部品の取り付け位置は上図の通りです。

4 切替コックを蛇口に取り付ける

水漏れしないように正しく取り付けてください。

お知らせ

切替コックを洗浄してもカルシウム固形分が生成水に交じる、または生成水の吐水量が少ない場合は、本体内部の配管にカルシウム固形分など、スケール汚れが蓄積していることが考えられます。この場合は別売の洗浄剤を使って本体内部の洗浄が必要です。詳しいことは販売店までお問い合わせください。

6 お手入れ

日常のお手入れ

■毎日または定期的に次のお手入れを行ってください。

- ・本体や切替コック、ホースなどに汚れが目立つ場合は、中性洗剤を薄めた水を布に湿らせ、固く絞った布で汚れを拭き取ってください。本体に直接水や洗剤をかけないでください。
- ・ベンジン、シンナーなど有機溶剤は使用しないでください。
- ・電源プラグの汚れやほこりを定期的に掃除してください。

長期間使用しないとき

■長期間使用しないときは以下のことに注意してください。

- ・電源プラグをコンセントから抜く
- ・切替コックを蛇口から外す
- ・浄水カートリッジを本体から取り出す
- ・本体内部、切替コック付ホースを洗浄して十分乾燥させた後、湿気のないところに保管してください。

■再度、使用するときは以下のことに注意してください。

- ・浄水カートリッジは新しいものを使用する
- ・本体内部、切替コック付ホースを通水洗浄する
- ・設置と準備（ページ10～16）に従って設置する

専用洗浄剤を使って内部洗浄する

■半年から1年に1回を目安に、別売のカルシウム洗浄剤と洗浄瓶セットを使って本体内部の洗浄を行ってください。

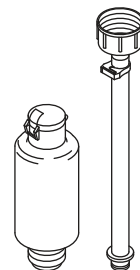
電解水素水の生成回数が増えてくると原水に含まれるカルシウム成分がスケール汚れとなり、電解槽の電極などに付着し始めます。スケール汚れが付着すると内部洗浄機能（ページ23）を使っても汚れは落ちないため、電解水素水や浄水の吐水量が減ったり電解水素水のpHが低下したり、本来の性能を維持できなくなります。特に硬度の高い水質の地域では多量にスケール汚れが付着します。

半年から1年に1回を目安に別売のカルシウム洗浄剤と洗浄瓶セットを使って、内部洗浄することをお勧めします。

詳しいことは販売店までご連絡ください。



カルシウム洗浄液
300 mL
(別売品)



洗浄瓶セット
(別売品)

故障かなと思ったら

- 修理を依頼する前に、下記に該当する現象はないか確認してください。
- 改善されない場合は「アフターサービス（ページ28）」に従い、販売店までご連絡ください。

No.	こんなとき	確認箇所・処置
1	電解水素水や浄水が吐水されない、または生成できない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグはコンセントにしっかり差し込んでいますか？ ・切替スイッチを押していますか？ ・切替コックレバーは「浄水」に切り替えていますか？ ・蛇口は開いていますか？または開き具合が少なすぎませんか？ ・飲用可能な高いpHを生成できないときは、付属のグリセロリン酸カルシウム（電解補助剤）を添加してください。（ページ19）
2	洗浄ランプが点滅した	<ul style="list-style-type: none"> ・内部洗浄の時期をお知らせしています。 → 洗浄スイッチを押して内部洗浄を行ってください。（ページ23）
3	洗浄ランプが点滅し「ピーピー」音が鳴り続ける	<ul style="list-style-type: none"> ・洗浄ランプが点滅したまま5分以上電解水素水を生成し続けていませんか？ → 一度通水を止め、洗浄スイッチを押して洗浄を行ってください。（ページ23）
4	洗浄スイッチを押しても洗浄機能が働かない	<ul style="list-style-type: none"> ・切替コックレバーを「浄水」に切り替えていますか？ ・蛇口は開いていますか？または開き具合が少なすぎませんか？
5	電解停止ランプが点灯し、「ピッピッ」音が5回鳴る（このとき、生成ランプ・電解強度ランプは消灯している）	<ul style="list-style-type: none"> ・電解水素水を連続して15分以上生成した。 → 一度通水を止めてください。
6	電解停止ランプが点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ・お湯を本体に通水した → 水を流して内部を冷やす。 ・電解電流が5 Aを超えた → 一度通水を止めてください。 ・流量が7.5 L/minを超えた → 蛇口を絞って通水流量を下げてください。
7	吐水直後の電解水素水が白く濁っている	水を電気分解しているときに発生する微細な気泡が混じったものです。そのまま使用して問題ありません。気になる場合は電解水素水を容器に移し、透明になるのを待ってから使用してください。
8	電解水素水を容器に保存していると白い浮遊物が発生している	電解水素水のカルシウムイオンと空気中の炭酸ガスが反応して発生する炭酸カルシウムの結晶です。炭酸カルシウムは無害です。
9	電解水素水をポットやヤカンに入れておくと内壁がはがれてきた	炭酸カルシウムの結晶が容器の内壁に付着し、はがれる場合があります。はがれに見えるものが付着した炭酸カルシウムの結晶であれば無害です。
10	pH測定液を使用しても色が変化しない	<ul style="list-style-type: none"> ・切替スイッチは押していますか？ ・切替コックレバーを「浄水」に切り替えていますか？ ・グリセロリン酸カルシウムは添加していますか？（ページ19） <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・販売店にご連絡ください。 ・水道水のpHが低い場合、まれに変化しないことがあります。 ・地下水を原水にしている場合、水質の遊離炭酸の影響により変化しないことがあります。
11	電解水素水や浄水が嫌な臭いや味がする（カルキ臭・カビ臭など）	<ul style="list-style-type: none"> 浄水カートリッジの除去能力が低下しています。 → 寿命でなくても新しい浄水カートリッジに交換してください。（ページ20～22） <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 長期間使用しなかった後、または使用頻度が低い場合は切替コックや本体の内部配管に水アカまたはカビが発生することがあります。 この場合は内部配管の洗浄が必要です。詳しくは販売店までご連絡ください。

故障かなと思ったら（つづき）

No.	こんなとき	確認箇所・処置
12	電解水素水や浄水の出が悪くなった	<ul style="list-style-type: none"> ・蛇口の開き具合が少なすぎませんか？ ・水道が凍結していませんか？
		<ul style="list-style-type: none"> ・浄水カートリッジ交換ランプが点滅していませんか？ 点滅していれば浄水カートリッジの寿命です。新しい浄水カートリッジに交換してください。（ページ20～22） ・浄水カートリッジが寿命に達していても水質によっては除去能力が早く低下することにより、生成水の出が悪くなる場合があります。 この場合も浄水カートリッジを新しいものに交換してください。（ページ20～22）
		<p>原水に含まれるカルシウム成分などの汚れが、切替コック内部に付着している場合があります。1～2か月に1回程度、切替コックの洗浄を行ってください。（ページ24）</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・浄水カートリッジを交換しても吐水量が少ないままの場合、原水に含まれるカルシウム成分が結晶化して電解槽内に蓄積している可能性があります。この場合、専用の洗浄剤を使って電解槽の内部洗浄が必要です。詳しくは販売店までご連絡ください。（ページ25） ・電解槽内のカルシウム付着を放置すると水漏れなど、故障の原因になる場合があります。
13	切替コックから水が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> ・切替コックはきちんと取り付けられていますか？（ページ11～12） ・正しい取り付け部品を使っていますか？ ・通水中に切替コックの安全弁から水が出る場合は、蛇口をゆるめて水量を減らしてください。安全弁は本体の故障防止のため、通水水圧が高くなったときなどに水圧を逃がす働きをします。故障ではありません。
14	本体から水が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> ・浄水カートリッジを交換するとき、本体底面のドレンから水が出てくる場合があります。この場合は故障ではありません。（ページ6） ・切替コックはきちんと取り付けられていますか？（ページ11～12） ・正しい取り付け部品を使っていますか？ ・浄水カートリッジは正しく取り付けられていますか？ ・カルシウムキャップは正しく取り付けられていますか？ ・本体底面のエルボにホースは正しく取り付けられていますか？（ページ13～14）
		<p>電解槽内部に付着したカルシウム成分が蓄積すると、内部の部品に異常な水圧がかかり、水漏れを起こす原因になります。 カルシウム成分が付着している場合は洗浄剤を使って電解槽内部の洗浄が必要です。詳しくは販売店までご連絡ください。</p>
15	通水中 本体から異音がる	<p>通水流量を計測している内部の部品が動作しているとき、まれに動作音が聞こえることがありますが、故障ではありません。</p>
16	電解能力が低下した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・電解槽の寿命により電解能力が低下した場合は電解槽の交換が必要です。 ・ミネラル分（カルシウムなど）が高い原水で電解している場合、電解槽内部にカルシウムなどが付着しやすくなり、電解能力の低下や電解槽内の隔膜が不具合を起こし、吐水流量が低下します。これらの原因により電解槽の寿命が短くなることがあります。

8 アフターサービス

保証・修理依頼

■ 保証書

保証期間はご購入日より1年間です。内容をよくお確かめのうえ、大切に保管してください。

■ 修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら（ページ26～27）」に従って調べていただき、それでも改善されない場合はご購入の販売店にご連絡ください。

■ 保証期間中は

保証書の規定に基づき、ご購入の販売店が窓口となって修理をお受けいたします。ただし、保証期間中でも有料になる場合がありますので保証書をよくお読みください。

修理依頼時には以下の内容をご連絡ください

- ① ご氏名、住所、電話番号
- ② 製品名、型式（保証書または本体に表示）
- ③ 製造番号（保証書または本体に表示）
- ④ お買い上げ年月日
- ⑤ 保証書の有無
- ⑥ 故障、異常の詳しい内容

■ 保証期間が過ぎているときは

ご希望により有料にて修理させていただきます。

■ 補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切りから7年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

■ ご不明な点は

ご購入の販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意

- 本製品は医療機器のため修理許可を取得した指定の作業所でしか修理できません。
- 修理または本体の内部洗浄をご依頼の場合、確認のために本体・ホース付き切替コック・使用中の浄水カートリッジを一緒にお送りください。
- 発送の際は各部品を十分に水抜きしてからビニール袋などに入れ、輸送時の水漏れを考慮した包装を行ってください。

9 仕様

販売名	セラビ
型式	CI-701H
定格電圧	AC 100 V
定格周波数	50 - 60 Hz
定格入力電流	2.5 A
pH	4~10 (但し水質水温により変化あり) [飲用アルカリpH: 9以上で10を超えない範囲]
カルシウム濃度増加率	30 %以上 (標準合成水 (注1)を使用時) [但し付属のグリセロリン酸カルシウム添加時]
電解槽の電極寿命	1年以上 (標準合成水 (注1)を使用時)
総吐水量	約4.5 L / min (但し水圧により変化あり 電解水素水と排水流量比 約2:1)
使用可能水道圧	0.05~0.5 MPa
浄水カートリッジの寿命	浄水能力: 30,000 L (原水の残留塩素濃度を2 ppmとして、処理後の濃度が0.4 ppmになるまでの総通水量) ※ 寿命は使用水量、水質、水圧により異なります。
本体寸法	高さ345 mm×幅238 mm×奥行き152 mm (突起物は含まない)
製品質量	約7.5 kg
医療機器承認番号	20500BZZ00230A02
類別	機械器具 83 医療用物質生成器
医療機器の分類	管理医療機器
一般的名称	連続式電解水生成器 (JMDNコード 71024000)
効果	電解水素水 (陰極水) 飲用して慢性下痢・消化不良・胃腸内異常発酵・制酸・胃酸過多に有効 酸性水 (陽極水) 弱酸性のアストリンゼント (化粧水) として美容に用いられる
製造販売元 製造元	コロナ工業株式会社 〒776-8555 徳島県吉野川市鴨島町上浦400-1 電話 0883-24-1155

(注1) 標準合成水: 日本ホームヘルス機器協会で規定された電解性能試験用水
製品仕様は品質改善のため予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

